

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 F A X (052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)

1966年7月31日第三種郵便物認可

# 愛知民報

週刊

2021年

4月18日

第2534号

## 名古屋市長選

## 25日投開票

# まっとうな市政実現を

日本共産党愛知県委員会 自主的支援

元市議会議員

# よこい利明さん

### 最大の対決点は

### リコール署名の責任

名古屋市長選が11日告示されました。25日投開票です。選挙戦は、4期目をめざす河村たかし市長と、元市議会議長の、よこい利明氏の事実上の一騎打ち。日本共産党は、よこい氏と「河村市長の再選を阻止し、壊された民主主義と傷つけられた市民の名譽を取り戻す」「コロナ感染から市民の命と暮らし、福祉を守る」という立場で一致。よこい氏を自主的支援します。11日の第一声で、よ

こい氏は国、県、市で連携しコロナ対策を進めると表明しました。昨年、秋に河村市長と高須克弥氏が呼びかけ、取り組まれた知事リコール署名は、その8割以上が不正で、しかもそれが大量のアルバイトを雇って行われた偽造であったことも明らかに。民主主義の根幹を揺るがす一大政治事件へと発展しました。知事リコールに終始しました。その態度に市民の怒りが大きくひろがっています。自らが市民に呼びかけたリコール署名で大量の不正が明らかになりながら、その政治的責任を厳しく問われない人物を、市長に居続けさせていいのかどうか、この選挙の最大の対決点です。

## 市長再選阻止で

## 政党・市民が大同団結

河村市長の再選阻止に、政党の一点共闘体制が構築され、政党、市民による大同団結が実現しました。選挙直前の7日に、尾形慶子氏が、立候補を辞退。たかひいは、河村氏、よこい氏の一騎打ちとなりました。これまで、よこい氏には、自民、公明、立憲、国民、社民、新社会、そして日本共産党と、愛知県に県連をもつすべての政党が、



日本共産党愛知県委員会では告示の11日、オンラインで市長選決起集会をおこないました。よこい氏がビデオメッセージを寄せました。それでも市の職員と女性です。どちらも社



## お辞め下さい河村市長

市民が集会・デモ

「表現の不自由展・その後」をつなげる愛知の会は10日名古屋市内で、河村たかし名古屋市長の退陣を求める集会とデモを行い、約150人の市民が参加しました。中谷雄二弁護士は、「10万円の定額給付金が遅くて市民が怒っているときに市長はリコール署名に熱中していた。自分を律することができない人に市長の資格はない」と訴えました。元自民党県議の梅村忠直弁護士は、「知事リコール運動の中心人物は明らか。みんなの力で引きずりおろそう」と呼びかけました。

名古屋市長選にあたり、日本共産党愛知県委員会に寄せられたメッセージを紹介しします。弁護士・元名古屋市長岩城正光さん、現市長の市政12年を振り返って、一言で言え「空白の12年間」であったということ。今こそ、現市長を変えなければなりません。これ以上の無責任な「良識のない、無責任な人」と今まで仕事をともにしたことがありませんでした。現市長の元で副市長を経験して、「なぜ市民はこんな市長を選ぶのか」とか、「民主主義の敵は民主主義なのか」と、ため息ばかりをついていました。私が名古屋市民に訴えていたのは、環境と環境活動家 尾形慶子さん、私たちが名古屋市民に訴えていたのは、環境と女性です。どちらも社